

## 2020年度地理学教室関連記事

### <地理学科>

#### \* 2020年度在籍学生数 (11月現在)

- 1年 128名  
地域文化研究専攻：71名  
地域環境研究専攻：57名
- 2年 144名  
地域文化研究専攻：71名  
地域環境研究専攻：73名
- 3年 115名  
地域文化研究専攻：61名  
地域環境研究専攻：54名
- 4年 174名  
地域文化研究専攻：95名  
地域環境研究専攻：79名
- 合計 561名  
地域文化研究専攻：298名  
地域環境研究専攻：263名

#### \* 地理学科スタッフ

- 学科主任 小田匡保  
専任教員12名 江口 卓・小田匡保・小野映介・佐藤哲夫・鈴木重雄・鈴木秀和・須山聡・高橋健太郎・田中 靖・土谷敏治・橋詰直道・平井幸弘  
兼任教員2名 清水善和・山縣 毅 (総合教育研究部自然科学部門)  
非常勤講師22名 生田清人・石井久生・市川清士・伊藤修一・伊藤慎悟・伊藤道治・今井理雄・王尾和寿・川合泰代・川元豊和・鈴木毅彦・鄭 美愛・中村洋介・平井史生・福井一喜・柳田 誠・山川信之・山口太郎・山田淳一・山本 充・湯田ミノリ・吉田健洋

#### \* 在外研究 (国内長期)

- 土谷敏治：2020年4月1日～2021年3月31日

研究機関：茨城県ひたちなか市企画部企画調整課、ひたちなか海浜鉄道本社  
研究テーマ：交通地理学の視点からみた公共交通活性化の課題と展望

#### \* 地理学科公開講演会

新型コロナウイルス感染症拡大のため開催せず

#### \* 地理学談話会

新型コロナウイルス感染症拡大のため開催せず

#### \* 地域調査入門・地域文化調査法・地域環境調査法・地域文化演習・地域環境演習

##### 地域調査入門 (2単位)

小野映介 地域：京都府京都市, (新型コロナウイルス感染症拡大のため現地調査は実施せず), 参加学生16名

テーマ：京都盆地の自然環境と人間活動

佐藤哲夫 地域：オルタナティブツーリズムの実施地域, (新型コロナウイルス感染症拡大のため現地調査は実施せず), 参加学生17名

テーマ：地域観光の資源と企画

須山 聡 地域：八丈島, 11月7日(1日), 参加学生7名

テーマ：離島の生活文化

田中 靖 地域：立川断層, 等々力渓谷ほかを対象としてヴァーチャル巡検を実施, 参加学生11名

テーマ：身近な自然とGIS

平井幸弘 地域：鹿児島県 桜島・錦江湾ジオパーク, (新型コロナウイルス感染症拡大のため現地調査は実施せず), 参加学生17名

テーマ：ジオパークにおける自然地理学の視点

##### 地域文化調査法 (4単位)

小田匡保 地域：駒澤大学周辺, 11月中旬(学生各自の個別調査), 参加学生4名

テーマ：駒沢の地名景観

須山 聡 地域：神奈川県三浦市三崎，10月22日，11月1日，11月22日，参加学生6名

テーマ：景観と土地利用

高橋健太郎 地域：横浜市寺家地区，11月21日（日帰り），参加学生16名

テーマ：都市・農村関係を考える

橋詰直道 地域：関東地方の地方都市，11月1日（日帰り），参加学生20名

テーマ：地方都市におけるまちづくり

#### 地域環境調査法（4単位）

江口 卓 地域：鹿児島県屋久島町，（新型コロナウイルス感染症拡大のため現地調査は実施せず），参加学生7名

テーマ：屋久島の自然

小野映介 地域：沖縄県那覇市周辺，11月27日～30日（3泊4日），参加学生3名

テーマ：沖縄の自然環境と人々の暮らし

鈴木秀和 地域：群馬県長野原町・嬭恋村，（新型コロナウイルス感染症拡大のため現地調査は実施せず），参加学生11名

テーマ：浅間山北麓の自然とそれを活かした地域振興

田中 靖 地域：喜界島，（新型コロナウイルス感染症拡大のため現地調査は実施せず），参加学生12名

テーマ：喜界島とその周辺地域の地殻変動

平井幸弘 地域：高知県高知市，（新型コロナウイルス感染症拡大のため現地調査は実施せず），参加学生11名

テーマ：河川下流・内湾域の環境問題

#### 地域文化演習（4単位）

佐藤哲夫 地域：横浜市関内・山下・山手地区，8月18，20，27，31日・9月2日（それぞれ日帰り），参加学生15名

テーマ：横浜の都市景観

#### 地域環境演習（4単位）

鈴木重雄 地域：神奈川県秦野市ヤビツ峠・埼玉県熊谷市・滑川町，11月8日・15日（それぞれ日帰り），参加学生6名・3名

#### \*「駒澤地理」第56号（2020年3月10日発行）

須山 聡：ふるさと納税にみる所得再配分機能と地域振興. 1-21.

角田清美：関東山地東南麓の丘陵地群. 23-42.

清水長正・山川信之・池田明彦・澤田結基・関秀明・山田祐子・大和美佐枝・石井正樹：日本の風穴小屋の分布に関する資料. 43-62.

#### 書評

岡本健著：『巡礼ビジネス：ポップカルチャーが観光資産になる時代』（小田匡保）. 63-69. 2019年度地理学教室修士論文要旨. 71-76.

2019年度地理学教室修士論文・卒業論文論題一覧. 77-81.

2019年度地理学教室関連記事. 83-86.

### <応用地理研究所>

#### \*応用地理研究所スタッフ

所長 江口 卓

所員 19名（所長を含む）

#### \*専門研究員の受け入れ

伊藤修一・伊藤慎悟・今井理雄・大槻 涼・瀬戸寿一・長谷川宏一（6名）：2020年4月1日～2021年3月31日

#### \*「地域学研究」第33号（2020年3月31日発行）

#### 論説

清水善和・Dorji GYALTSHEN：ブータン西部ワン・チュ流域における植生の垂直分布—東アジアの冷温帯林の成立について—. 1-30.

田中 靖・八反地 剛・山下久美子・古市剛久・土志田正二：SHALSTABと1-m DEMによる表層崩壊発生ポテンシャルの評価—山口県防府市剣川流域での事例—. 31-45.

佐野弘好：岐阜県西部，舟伏山東部地区の美濃帯ペルム系石灰岩. 47-74.

#### 資料

鈴木倫太郎：陸域に接するサンゴ礁浅海域の脆弱性に関する考察—石垣島白保サンゴ礁を

例に一. 75-94.

## <大学院地理学専攻>

### \* 2020年度在籍大学院生

修士課程

1年：新井健生・中村友美

2年：鈴木悠生・松岡 農・吉田哲雄・

羅 見歆

### \* 大学院地理学専攻スタッフ

専攻主任 田中 靖

専任教員12名 江口 卓・小田匡保・小野映  
介・佐藤哲夫・鈴木重雄・鈴木秀和・須山  
聡・高橋健太郎・田中 靖・土谷敏治・橋詰  
直道・平井幸弘

非常勤講師2名 王尾和寿・柳田 誠

### \* 発表会

卒業論文発表会

新型コロナウイルス感染症拡大のため開催せ  
ず

修士論文中間発表会

2020年9月24日(木) 16:30-18:00,

駒沢キャンパス3-602, 発表者4名

修士論文構想発表会

2020年12月24日(木) 15:00-16:00,

駒沢キャンパス3-602, 発表者2名

修士論文発表会

2021年1月23日(土) 13:00-14:10

駒澤大学深沢キャンパス講義室1-2

松岡 農：震災被災地における震災伝承施設  
の機能と役割—仙台市若林区荒浜  
地区を事例に—

鈴木悠生：モウソウチク林の種組成タイプと  
環境条件との関係性(オンライン)

吉田哲雄：流域地形計測にもとづく日本の山  
地地形発達ステージの検討

羅 見歆：中国福州平野・閩江南港における  
中州・湿地の変貌(事情により欠  
席)

### \* 「駒澤大学大学院地理学研究」第48号

(2020年4月30日発行)

論文

鈴木悠生：日本アルプスにおけるライチョウの  
生息と植生の関係性. 1-7.

松岡 農：震災遺構の保存と新たなツーリズム  
—仙台市立荒浜小学校を事例に—. 9-18.

松岡 農：特定集落による村政支配構造—鹿兒  
島県大島郡宇検村を事例に—. 19-23.

吉田哲雄：下総台地北西部の地形について—常  
総粘土層上面の高度分布を中心として—.  
25-38.

吉田哲雄：法線ベクトルを用いた地形計測法の  
研究—GISデータと都道府県水準測量成果を  
利用した地形特性指標の作成—. 39-44.

羅 見歆：中国東南沿海部福州平野における地  
形と水害. 45-51.

令和元年度修士論文要旨. 53-58.

### \* 第36回紫竹学林会(大学院地理学専攻OB会)

最終講義・総会

2021年1月23日(土) 15:00-18:00

最終講義 15:00-17:30, 駒澤大学深沢キャン  
パス アカデミーホール

佐藤哲夫先生：私の地理学と地図と地域研究  
総会 17:40-18:00, 駒澤大学深沢キャンパス  
アカデミーホール

なお懇親会は、新型コロナウイルス感染症拡大  
のため開催せず